

実習課題 1

課題内容

現実の世界を GIS に向けたデータとして表現してみる。身近な町並みを地図で確認し、地図上に表した現実の都市活動をデータ化してみる。

作業手順

1. なじみのある街並みを、インターネット上の地図検索サービスを使って地図で確認してみる。調べる街並みは、**自宅からの最寄駅や頻繁に利用する駅あるいは金沢八景駅のいずれかの周辺地域**を選んでみる。検索サービスは

□ Google <http://maps.google.com/>

□ goo <http://map.goo.ne.jp/>

などを使えばよい。

2. 建物の形が確認できる程度の拡大率（解像度）で、駅を含む 100m×100m 程度の範囲を印刷してみる。必要なら拡大コピーをとって、作業が楽になるように工夫してみよ。
3. **実際に現地に出向いて、建物ごとに用途（住宅・店舗・飲食店・事務所・倉庫など）に分類しながら地図上にメモ**してみよ。

外観で判断できない場合や敷地奥で確認できない建物は、「不明」「調査不能」でよい。また、用途が混在しているような場合～1階が店舗・2階が飲食店のようなもの～は、「混在用途（店舗・飲食店）」として記録するか、1階の用途のみを記録する、のよように自分なりの方針を決めて作業をすればよい。

調査当日の時間帯・天候なども参考に記録しておくこと。また、地図には現れない、人の流れ・音・匂い・外壁の様子なども記録しておくのが望ましい。余力があれば、写真を撮って参考資料としておく（不審者扱いされたりしないよう、さりげなく撮りましょう。また、一般に断りなく顔を迂闊に撮ると、肖像権侵害と取られることもあるから、個人が特定できるような写し方は避けること）。

4. 調べた結果を建物の用途が分かるように、適宜数値化しておく。たとえば,

0	建物なし
1	住宅
2	店舗
3	事務所
...	
9	用途不明
10	調査不能

などのように、あらかじめ整理しておこう。

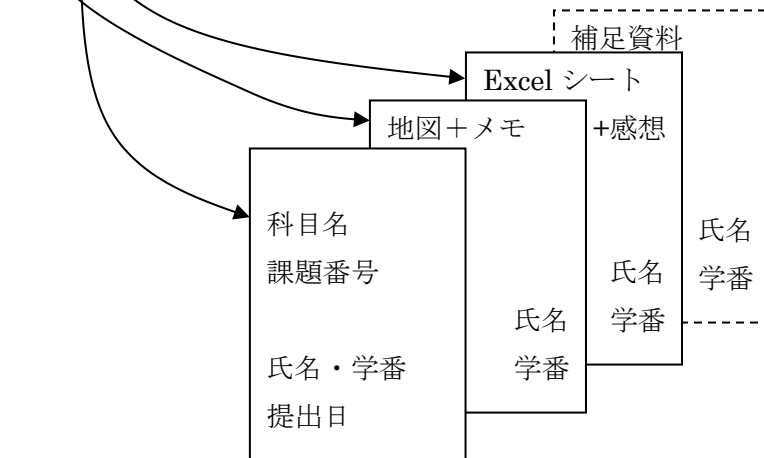
5. 面積の違いが分かる程度に細かな大きさに地図を細分し、GIS_ex02 の作業で行った要

領でラスタ形式のデータを作成する。単に建物の有無だけでなく、3.4.の作業結果を生かして、建物の用途が分かるようにすること。結果を Excel のシートに入力しなさい。

6. Excel のシートの余白に用途別面積を求めてみなさい。上記の例であれば、1 の値（住宅）を数えるには =countif(データ化した範囲,1) の形で求められる。見本の Excel ファイル(GIS_report1_example.xlsx)も参照して活用してみることに。
7. Excel シートの余白セルに作業上の感想を簡潔に入力しなさい。シートを印刷したものに手書きで加えてもよい。100 字～200 字程度にまとめること。

提出物

- 作業に用いた地図。現地調査したメモ・観察記録を残しておく。提出物はコピーで構わない。調査場所が分かるように駅名などを記入しておくこと。
- Excel で処理した結果。入力したデータと面積（セル）を集計した表。作業上の感想を 1 枚のシートにまとめる。印刷は複数のページになってもよい。また、撮影した写真など、現地調査・観察の補足的資料を追加してもよい。
- いずれも、氏名・学番・提出日を余白に記入するか、ヘッダーに設定のこと。できれば表紙を付け、ステープラー等で全体を綴じておくこと。



提出期限

2017 年 5 月 12 日（金）（次々回の授業日） 18:00

提出場所

次々回までの授業時に提出するか、授業時以外の場合は 3 号館（総合教育研究棟）1 階の「施設管理担当」入口（写真参照）にある坂口宛 Box へ投函すること。

施設管理担当入口
（実習室 A～C の向かい側）

